

みなしご通信



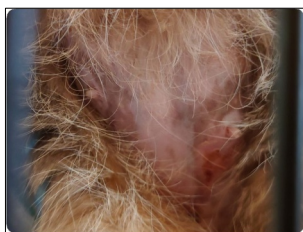
治すには「様子見」の選択も

北海道芦別猫のお腹：芦別TNR一斉に来たとき、こんな感じだった子。これまでの私の経験からこの子の歴史を想像し今後の指針を決めました。食物アレルギーを放置し外で生活させていた上に出産子育てで傷が悪化、子どもは育てたい

ない野良猫をケージから出すことは危険なので広島に戻すままです。うことになりました。そして広島に戻るなりうちの者に猫を立たせてもらい私がお腹を見ました。あれ？この子だっけ？と思っ



4点を守ればヨシ！狭いみなしごバス猫サロンでは人慣れしてい

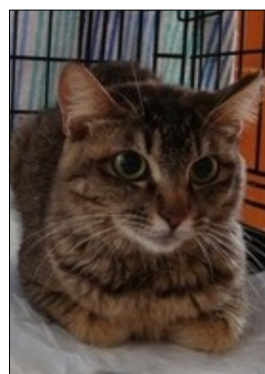


りとあらゆる傷病を治したい一心でありとあらゆる傷病にあき

が子どもが近寄ると激痛が走る…これかなり不幸なストレスでしょ。なので逆に医療は何もしないでヨイ！★出産後間もない子猫と別にした★フードの質を上げた★清潔な環境にした★ストレスを与えない。この

て顔を見直したぐらいキレイじゃん！抗生剤はすでに手術の時に入れられたわけだから、もうそれ以上は体に入れない。これでうまくいきました♪ほんの少し赤みがあるだけで、あとは完璧っす♪

私はこの25年の間にありとあらゆる傷病を治したい一心でありとあらゆる傷病にあき



らめず立ち向かってきたけれど、それでええのか？と思う壁に何度もぶち当たり…ひとつ言えることは、できるだけその子の歴史をひもといてそうなった原因を知ることが大事。野良猫の場合はいがいがい気づいたら傷病を負っているわけだから原因なんてわかるはずがないけど性格とか生活環境とかいろんなことを考えながらひとつずつひも解いていかなないと傷病は治りません！逆にやたら抗生剤を投与したことで無菌状態になったために感染させてしまったり…の悪の無限ループにモノ言わぬ猫を迷い込ませることにあります。すべては私たちにかかっているのです。

うということ。動物病院で「様子を見ましょう」と言われたら「先生は何もしてくれない」と不安になり、血液検査をしてもらったり抗生剤を注射してもらったりから安心する…これ大きな間違いなのでね、《正しく》判断をしましょうね！たった4日でここまで治ったわけだからあと2日もすれば完治でしょう！人慣れしてない子だし早速4F小部屋で自由にしました。そうそうこの子の名前はるもい（留萌）です。今回芦別TNRに留萌から猫が参加していて『留萌ってどこ？』私は初めて留萌の場所を知ったのでその記念です(笑)。

ロツクンロール

イタチの子どもが誰かに咬まれてケガをしているとSOSを受け野生動物担当（勝手に）の私がお迎えに参りました。イタチが動かないってのはかなり重症。だいたい野生動物の世界ではキツネはキツネにタヌキはタヌキにやられハクビシンもまたハクビシンにやられます。なぜ同じ種にやられるのかと言うとやはり食べ物嗜好や生活様式全般が同じじゃからでしょう。草食と肉食、昼行性と夜行性これらが一致するのは同種しかありえん！と思うんですよ。同種でもおとなたちはすでに折り合って生きているんだけど親離れしたばかりの世間知らずちゃんたちはちよつと生意気だったりもするから強い先輩のエリアにズカズカ入って行ってやられちゃうんですよ。俗にいう縄張り争いってやつですけど入ってこられた方は「ようこそようこそ」っ

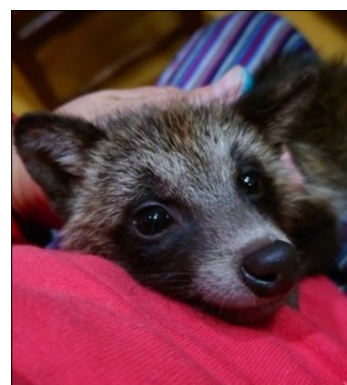


てわけにもいかず、相手が親離れしたばかりのちびっ子であっても「ここから出ていけ」と怒ります。それだけ野生動物たちは自分が生きていくので精一杯とゆうことなんですよ。

のけぞった首に咬み傷。

穴の小さきからしてやはり咬んだのはイタチでしょう。青い葉をドボドボと垂らしました。脱水具合を確かめようとしたら貫通した感じでもっと鋭い傷がありました。首をボコボコに咬んでいるので相手は本気でですね。動けないのはおそらく全身を強打したから。イタチは体型的に細長いからブンブン振られたのかな…とにかく生きていくことは間違いないのでこの命を消さないように、まずは子猫用ミルクを。イタチは肉食だし犬用より猫用の方が栄養価が高いから。半分こぼし半分飲みこみました。皮下補液をして抗生剤を投与して静かにさせました。

イタチの子どもに集中していたら隣の方からか細い



声でクククと鳴く声。同じようにおとなにやられケガを負った子狸のロックです。連れて帰って2日ぐらいはいちいち怒るので私も咬まれまくりましたが今じゃ私ら「ええ親子」です(笑)でん部の咬み傷もすっきり治り気づいたらお母さん大好きっ子です(笑)タヌキも仲間同士グルーミングをしますからロックもしよっちゃゆる私を舐めてます。今も腕を舐めてきてます。おい、その腕はお前がさんざん咬んだ腕だよ(笑)

ロックは子ぎつねニツクつながりでロック。ならば子イタチちゃんもロールでどうでしょう♪ロックンロールYEAH! ロールは女の子です。正面から見るとまさしくイタチ! 強食も少し

ずつ食べています。

負傷動物は最初にどんな人と出会うかでその後の運命が変わります。首から血を流している小さなイタチを助けたいと願う人に出会えたロールが、その後1時間車に揺られてたどり着いた犬猫みなしご救援隊広島本部。今より少しでも元気になったら、相手は凶暴なイタチなので二度と触れんし顔すら見ることはできませんでしょうね。

熊よけラジオ

カツの振り返り美男姿です! かわいい耳でしょ! 私にはカツがかわいいすぎて、カツとパンダの差もわからんけど、カツとミツキーマウスの差もわからんです(笑) ここまで言うとかかなりヤバイ(笑) 次の段の写真: これ熊カツの抜け毛です。



もし、森の中でこんな毛玉を見つけたら近くに熊がいる証拠です。山に入るなら森に入るなら、リュック等に鈴や鐘をぶら下げるのではなく「ラジオを大音量でつけたまま」お入りください! いくら鈴や鐘をぶら下げていても山菜採りなどに夢中になり体の動きが少なくなると、鳴らなくなりますからね!


熊だけでなく野生動物はみな臆病です。ラジオガングンで「人がここにいるよ!」をアピールしながら山に入れば野生動物たちの方が先に逃げてくれますから! 月に10日ぐらい熊と暮らしている私が言うんだからこれは間違いないです!

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人 (特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

 **つながる募金**
 ▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。